

令和6年度 第8回
都賀地域会議会議録

令和7年1月28日(火)
栃木市都賀総合支所 別館大会議室

都賀地域まちづくりセンター

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和6年度第8回 都賀地域会議
開催日時	令和6年1月28日（火）19時00分 開会 20時15分 閉会
開催場所	都賀総合支所2階大会議室
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職氏名	別紙1のとおり
その他出席者等	別紙1のとおり
会議事項	別紙2のとおり
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
会長 事務局	1 開会 19時00分事務局より開会を宣言。 2 あいさつ 大塚会長より挨拶。 本日の出席人数について事務局に報告を求める。 都賀地域会議委員総数15名中14名出席と報告。 地域づくり推進条例第9条第2項の要件を満たすため、本会議の成立を宣言する。
会長 文化課	3 議事 議事（1）栃木市文化財保存活用地域計画について（情報提供）【担当課：文化課】 （説明） 担当課に説明を求める。 資料に基づいて説明。
会長 A委員	（質問・意見） 委員一同に意見を求める。 この計画を作成する上で、文化財に対する困っていることや、なぜこの計画を作成するのか、もう少し具体的に教えていただきたい。
文化課	文化財に対する課題や、その課題に対する取り組みをまとめ、一覧にすることを計画の目的としている。 現在、文化財の継承・担い手不足や、保存・管理が困難になりつつあるとい

	った相談を受けている。 また、建物の修繕・補修するための資金繰りに苦慮しているといった相談もお寄せいただいている。その他の課題の洗い出し等も行い、文化財の継承に繋げていくことを考えている。
B 委員	各地域にある小さな神社だったり文化財については、地元地域の方で保存や維持をしていると思うが、それに対する財政面の支援がされたりするのか。
文化課	財政面については、現在も補助制度があるため、そちらを活用いただきたい。しかしながら、支援の相談が多くあれば、取り組みの一つとして検討することも考えられる。
B 委員	もう一つ、文化財に期待する役割について、観光資源が挙げられているが、小さい神社だったり文化財は観光資源としての性質とは違ってくると思われる。それ以外に期待する役割はあるか。
文化課	それ以外については今後検討していくが、保存・活用をしていきながら、文化財を継承していくことが重要と考える。
C 委員	計画の期間が8年間とあるが、無形文化財については、現時点で担い手不足や教える人自体が高齢化で継承出来ない状況にある。そういった問題は策定を待たずに動いてもらいたい。
文化課	確かに担い手不足の問題については、現在も多くの相談を受けている。この計画のポイントとして、地域住民、民間団体、文化財部局、庁内関係部局などが連携することで地域総がかりで文化財を継承していくことを目的としているため、広い視野で課題の解決が出来るよう検討していきたい。
D 委員	栃木市剣道場の武徳殿について、進捗状況を伺いたい。
文化課	所管はスポーツ課であるが、現在は耐震も含めた基本計画を策定中である。 指定文化財への要望もあるため、専門家の意見も取り入れながら、今後は詳細設計や耐震工事が実施される予定かと思われる。 剣道場であるため、まさに活用されながらも、文化財として保存される方向で進んでいければと考える。
会長 委員一同	委員一同に意見を求める。 質問・意見等なし。 担当課退席。
会長 センター長 地域政策課	議事（2）地域自治制度の新制度移行について【担当課：地域政策課】（説明） 担当課に説明を求める。 地域自治制度の見直しについて経緯を説明する。 資料に基づいて説明する。

会長	(質問・意見)
A 委員	委員一同に意見を求める。
センター長	各地域の実働組織が集まって、自由に情報交換が出来る場を是非とも設けていただきたい。他の地域では資金調達に苦慮していると聞く。そういった課題を共有し、解決に向け意見交換をしたいと考える。
	過日行われた都賀地域のふれあいトーク内でも意見があった。
	今回の制度見直しについて、他の地域会議や認定まちづくり実働組織との共同提案を認めるとある。そのため、実働組織の事業として承認されれば、地域予算提案事業として資金が確保されるかと思われる。
	意見交換の場については、部全体に関わることなので、部内で検討していきたい。
E 委員	地域予算提案事業について、他の地域会議との共同提案を認めるとあるが、他の地域がどういった事業を検討しているか把握する機会がない。やはり他の地域との意見交換をする場を設けてもらいたい。
地域政策課	交流会を開催予定であり、そういった場で意見交換を設けてある。積極的に利用していただきたい。
会長	近隣の地域、都賀地域では主に西方地域の地域会議や実働組織と交流が図れるようにしていきたい。
F 委員	地域会議委員構成・任期等の見直しについて、在任期間は2期又は4年を超えないよう配慮するものとあるが、各委員がその期間で替わってしまったら、うまく引継ぎや継承がなされないまま運営していくことになってしまうのではないか。在任期間については、ある程度柔軟な対応をしてもらい、会議の流れが分かる委員も半分はいた方がよい。
地域政策課	栃木市審議会等の設置及び運営に関するガイドラインでは、委員の任期について、審議会等の活性化を図るため、委員の固定化を避けることが記載されている。しかしながら、委員が替わってしまうことによって、前年度の課題が引き継がれなかったりする恐れもある。また、長年経験された委員の知識や意見等も大変貴重であることから、委員構成については柔軟に対応していきたい。
B 委員	SNS の積極的な活用について、地域会議に興味ない方は見ないのではないのか。そのため、どうやってそれを周知していくのか。また、どのように運用していくのか。
地域政策課	これから検討していく。発信方法は市 HP や市広報紙に折り込む地域会議だよりになるかと思われる。市の公式 LINE も活用していきたい。
	また、実働組織の中には、既に SNS を運用している団体もあるため、そういった団体と情報共有しながら、どういった運用方法が良いのか検討していくことになる。

B 委員 地域政策課	市職員の中の地域会議からの提案だという「やらされ感」の払拭を図っていきたい。 とあるが、そのようなイメージを持たれているのか。 所管課で編成されている予算事業とは別に事業を組み込むことになるため、想定していない事業が増えてしまうといったイメージを持たれてしまうことがある。しかしながら、本当は予算編成に組み込みたかったが予算計上出来なかったものが、地域予算提案事業で実施できたケースもある。 地域課題の解決に向けた提案事業を事前に所管課と調整することで、事業実施可能なのか、その提案事業は類似の事業があるため、こういった代替案がある、などといった所管課との密な連携が図れるのではないかと考える。
C 委員 地域政策課 会長	地域予算提案制度では予算が足りないものや、高齢化社会に対する支援や対策といった地域だけで取り組むことが難しい課題等については、どのように対処すればよいのか。 また、自治会長や民生委員をなかなか引き受けてもらえないといった声を聞く。子育て世代の相談もよく聞くため、そういった意見はどこで吸い上げてもらえるのか。 各地域で解決が難しいものに対しては、地域会議が自主的に審議し、地域会議が必要と認める場合には、市長に対し意見書を提出することができる。 今の地域会議は地域予算提案制度に集約されてしまっている。本来であれば、地域の自治会、民生委員や子育て世代の課題解決について検討・議論し、必要があれば市に意見書を提出するのが望ましい形である。
会長 委員一同	委員一同に意見を求める。 質問・意見等なし。 担当課退席。
会長 事務局	議事（３）令和７年度実施分 都賀総合支所開庁記念事業の検討について（説明） 事務局に説明を求める。 資料に基づいて説明する。 当初予定していた著名人が日程について都合が悪いとのこと。イベント日を変更するか、別の著名人を検討するかどうか。
会長	イベント日も既に周知しており、文化祭もその前後でスケジュールを組んでいるため、別の著名人を検討することによってよろしいか。
会長 委員一同	（質問・意見） 委員一同に意見を求める。 質問・意見等なし。

事務局 F 委員 事務局 委員一同 事務局 事務局 事務局 委員一同 事務局 委員一同	4 その他 (1) 会議録の確認について (説明) 事務局より説明。 委員一同に意見を求める。 (質問・意見) 終了時刻について異なる部分がある。修正願いたい。 ありがとうございます。他に意見を求める。 意見なし。 会議録について了承とする。 (2) 令和6年度第9回都賀地域会議の開催について (説明) 事務局 今回の開催について説明。 令和7年3月11日(火)午後7時00分～ 都賀総合支所2階大会議室 予定。 (質問・意見) 事務局 委員一同 委員一同に意見を求める。 質問・意見等なし。 (3) その他について (質問・意見) 事務局 委員一同 何か質問・意見等あるか。 質問・意見等なし。 5 閉会 以上で本日の会議は終了とする。 ——閉会—— (会議終了時刻 午後8時15分)
--	---

別紙1 出席者及び事務局

出席者（委員）

会 長	大塚	紀通
副会長	辻原	正信
委 員	茅島	淳二
委 員	石本	俊光
委 員	相田	美由紀
委 員	郡司	敦
委 員	直井	茂
委 員	飯嶋	かおる
委 員	関口	精一
委 員	早乙女	英利
委 員	篠崎	正美
委 員	田島	富美子
委 員	中島	美和
委 員	山本	文彦

欠席者（委員）

委 員	高野	和枝
-----	----	----

事務局

島田	和行	（都賀地域まちづくりセンター所長）
岡部	学	（都賀地域まちづくりセンター課長補佐）
斉藤	友良	（都賀地域まちづくりセンター課長補佐）
大竹	英喜	（都賀地域まちづくりセンター主査）

その他出席者

成松	尚子	（文化課課長補佐）
口川	真	（文化課主事）
関根	光里	（地域政策課主査）

別紙２ 会議事項

１ 開 会

２ あいさつ

３ 議 事

（１）栃木市文化財保存活用地域計画について（情報提供）【担当課：文化課】

（２）地域自治制度の新制度移行について【担当課：地域政策課】

（３）令和７年度実施分 都賀総合支所開庁記念事業の検討について

４ その他

（１）会議録の確認について

（２）令和６年度第９回都賀地域会議の開催について

令和７年３月１１日（火）午後７時～ 都賀総合支所 大会議室

５ 閉 会

配付資料一覧

令和６年度第８回都賀地域会議次第

資料① 栃木市文化財保存活用地域計画について

資料② 栃木市地域自治制度の新制度移行に係る見直しの概要

資料③ 栃木市地域自治制度の新制度移行に係る検討項目一覧

資料④ 栃木市地域自治制度見直しに関する意向調査報告書

資料⑤ 「（仮）複合施設開庁記念講演」内容詳細アンケート結果表